

庭園における緑化樹の利用頻度に関する考察

—— 九州本土の主要庭園を事例として ——

西日本短期大学 池田二郎

1. はじめに

本研究の目的は九州本土における庭園樹種のうち、最も頻繁に利用されているものを把握するために調査を実施したものである。樹種の変動は当然各地の気候風土によって左右されることは言うまでもないが、そこに人間の嗜好選択が加味されて、樹種の数は一様で多くなると思われるが、環境条件、管理などの制約を受けて、その数量はほぼ平均化されてくることが予想される。

2. 調査方法

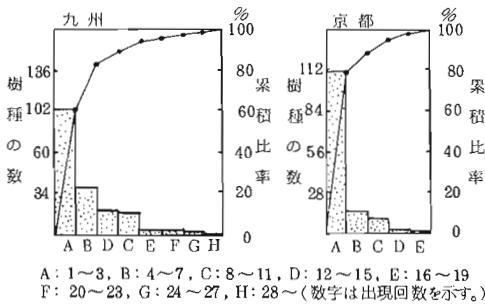


図-1 利用頻度パレート図

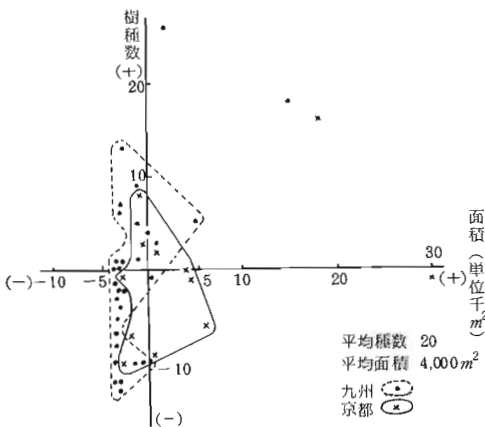


図-2 面積と樹種の数の相関図

九州各県にわたり、34カ所の主要庭園を選定し、樹種調査を実施した。これと同時に比較対照の意味から、京都有名庭園17カ所の調査結果を統計的に整理したが、何れも本年7~8月の調査によるものである。

3. 結果と考察

調査の結果、庭園に見られた樹種は九州で170種、そのうち約60.6%は出現回数1~3回のもので、その中には山野に自生するイヌビワ、ニワウルシ、ヤマハゼ、クサギ、タラノキ、タカノツメ、クロキ、ヤブコウジなどが混じっている。次いで4~7回出現のものが2.9%で、出現回数8回以上のものになると僅かに16.5%にすぎない。こうした状況は京都では、調査樹種138種に対し、1~3回出現のものは約79%、4~7回出現のもの10.1%でこれらのものを除くと8回以上は11.9%となって更に樹種が限定されている(図-1)。ところで一庭園に出現する樹種数を平均すると九州で 23 ± 16 、京都で 22.9 ± 13.7 で、平均種数は何れも約23種であるが平均値よりの散らばり幅は京都が小さい。しかし種数を縦軸に、庭園面積を横軸にした相関図(図-2)では種数と面積の相関関係は殆んど見られず、散らばり範囲は九州と京都でかなり重合しており、とりわけ九州では面積も $1000m^2$ 以内で、20種以下のものが目立つ。(図-2の原点は平均種数20、平均面積 $4000m^2$)

ところで数多い樹種の中から比較的多く利用されているものは、ツツジが一番多く、次いで九州ではイヌマキ、モミジ、ツバキ、京都ではアカマツ、アラカン、モミジ、ツバキで両者にかかなりの共通樹種がみられる(表-1)。しかし九州のソテツ、京都のモウソウチクは如何にも郷土色が出ており、スギ類は北山杉を含めて観賞対象になっていることがわかる。また京都ではアカマツが目立つが、それに対して九州ではクロマツが割合に多く、とりわけ針葉樹としてイヌマキが著しい。ところが常落別に樹種の割合を考えると全般に常緑樹は落葉樹より多く、次いで京都では針葉樹が多いのに対し、九州では特殊樹が目立つ(図-3)。

更に一庭園における植栽本数を眺めてみると高木、亜高木、中木、低木の順に急激に増加し、地被植物も

草本を加えるならば更に増えるものと推定される。しかも本数の多い低木76.7%は殆んどツツジ類でこれを除くと14.3%になる。また常落別にみた場合は常緑樹が最も多く全体の84.5%を占め、針葉樹、落葉樹は、ほぼ同じ程度に存在するが、共通樹種の数は常緑樹17、針葉樹11、落葉樹13の割合で、常緑樹の本数が多い割合に種数はさほど多くない(表-2)。

4. ま と め

一庭園における樹種の数は面積や植栽本数などには余り関係がなく、一般に少ない方向に向う傾向が強く、平均して20種余にすぎない。尚京都の美化された庭園では樹種の数は固定化されてくる傾向が強いが、九州はその点気候的な差異もあって種数が一般的に多い。しかも庭園内では自然導入樹種が混じり、明らかに庭園樹の種数が大自然の中で少しずつ変動していることが推定される。

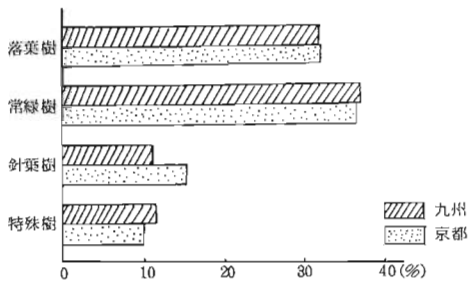


図-3 植栽構成割合の比較

表-1 利用頻度の高い庭園樹種

九州			京都		
順位	樹種	頻度(%)	順位	樹種	頻度(%)
1	ツツジ類	100	1	ツツジ類	100
2	イヌマキ	79.5	2	アカマツ	88.2
3	モミジ	78.5	3	アラカシ	82.4
4	ツバキ	78.5	4	モミジ	82.4
5	ウメ	58.8	5	ツバキ	70.6
6	サクラ類	58.8	6	クス	64.7
7	クロマツ	55.9	7	サクラ	64.7
8	ナンテン	47.1	8	スギ	58.8
9	アラカシ	47.1	9	アセビ	47.1
10	クス	44.1	10	アオキ	47.1
11	クチナシ	44.1	11	イヌマキ	47.1
12	サルスベリ	41.2	12	モッコク	47.1
13	ソテツ	41.2	13	クロマツ	47.1
14	サザンカ	38.2	14	キンモクセイ	47.1
15	ヤツデ	35.3	15	ハギ	47.1
16	モッコク	35.3	16	ナンテン	41.2
17	フジ	35.3	17	モクソウチク	35.3
18	キンモクセイ	35.3	18	クマザサ	35.3
19	イヌツゲ	35.3	19	カナメモチ	35.3
20	ヒサカキ	29.4	20	ヒサカキ	35.3

表-2 庭園別樹木数の比較

庭園名	面積 (m ²)	樹種数	植栽内訳 (%)						特 性 別 (%)			
			高木	亜高木	中木	低木	地被植物	計	常緑	針葉	落葉	計
伝来寺	280	13	4.1	6.6	3.3	76.2	9.8	100	92.6	4.1	3.3	100
瑞願寺	276	21	3.4	1.7	11.0	75.4	8.5	100	83.1	7.6	9.3	100
坂梨邸	630	26	0.6	2.6	11.7	78.6	6.5	100	77.9	12.3	9.8	100
計	1,186	60	8.1	10.9	26.0	230.2	24.8	300	253.6	24.0	22.4	300
平均	395	20	2.7	3.6	8.7	76.7	8.3	100	84.5	8.0	7.5	100

(注) 高木：10m以上、亜高木：5～10m、中木：2～5m、低木：0.3～2m、地被植物：0.3m以下